

氏名	山 本 智 之		
学位の種類	医 学 博 士		
学位授与番号	博 乙 第 2252 号		
学位授与の日付	平成 3 年 3 月 28 日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第 5 条第 2 項該当）		
学位論文題目	Haloperidol 服用中の精神分裂病患者の血中抗ドパミン力価，抗 ノルアドレナリン力価，抗セロトニン力価		
論文審査委員	教授 庄盛敏廉	教授 森 昭胤	教授 佐伯清美

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

抗精神病薬は抗ドパミン(DA)作用，抗ノルアドレナリン(NA)作用，抗セロトニン(5HT)作用などの薬理作用をもっている。代表的な抗精神病薬で強い抗DA作用を有するHaloperidol(HPD)服用中の精神分裂病患者の血中の抗DA力価，抗NA力価，抗5HT力価をradio receptor assay法を用いて測定し，臨床的効果等の種々の臨床的要素との関連について検討した。対象は2群に分けられ，第1群は維持療法中の外来患者16例，第2群は幻覚妄想状態の急性期治療中の入院患者18例である。

第1群の服薬量は少量で，血中のHPD濃度，抗DA力価も低かった。抗NA力価，抗5HT力価は2例で測定されたにすぎなかった。このことから精神分裂病の再発防止には抗DA作用が必要であるが，低い力価で十分な症例が多くあると考えられた。

第2群では，抗DA力価は一定の範囲に集中していたが，臨床症状の改善と明確な相関はなかった。抗NA力価は症状の改善と正の相関があり，臨床的に重要な意義があることが示唆された。

### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は，精神分裂病患者における抗精神病薬の薬理作用について臨床的に研究したものであるが，従来十分確立されていなかった急性期患者における症状改善と血中抗ノルアドレナリン力価との相関について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって，本研究者は，医学博士の学位を得る資格があると認める。